Meio University
Graduate Program in Midwifery

名桜大学

助産学専攻科［1年課程］

令和6（2024）年度

Contents

専攻科の特色 …… P.1
養成する人材像
教育目的
学生が修了時にもつべき能力
取得できる資格・免許
修了後の進路
入学者選抜の概要 …… P.2
　入学者の受入方針（アドミッション・ポリシー）
　募集人員
　出願資格
　選抜方法
　入試日程
教育課程 …… P.3
教育課程編成の基本的な考え方 …… P.4
年間スケジュール令和5（2023）年度 …… P.5
学費等納入金 …… P.5
助産学専攻科で学ぶQ&A …… P.6
キャンパスマップ …… P.6

公立大学法人
名桜大学
MEIO UNIVERSITY

名桜大学

助産学専攻科

Meio University Graduate Program in Midwifery

安心して健康な子どもを産み育てられる地域づくりに貢献する助産師を育成します

専攻科の特色

本専攻科は、沖縄の地理・歴史的文化的特性、とりわけ健康長寿社会の中で育まれた人々の豊かなケアリング文化に根ざした助産ケアを提供できる助産師の養成を目指し、地域社会の保健・医療・福祉との連携を推進することを特色とする。

養成する人材像

本専攻科は、以下のような人材を養成する。

(1) 安全で質の高い助産実践能力及び他職種と協働できる能力を身につけ、地域住民と相互にパートナーシップを築く存在として自己研鑽し、地域・国際社会の母子保健の発展に貢献できる助産師。

(2) 豊かな人間性と倫理観に基づき、地域特性や対象のニーズを踏まえた適格な対応ができ、女性とその家族のライフサイクルに応じた健康支援を自律して実践できる助産師。

教育目的

助産学専攻科は、看護学を基盤に、人間の生命の尊厳を守り、人権を擁護できる豊かな人間性を培うとともに、女性、母子やその家族を全人的に理解し、寄り添い、かつ、継続的に健康教育支援ができる助産師を養成する。また、安全で質の高い助産実践能力を維持し、他職種と協働して、地域・国際社会の母子保健の発展に貢献できる自律した助産師を養成することを目的とする。

学生が修了時にもつべき能力

助産学専攻科では、以下の能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して修了を認定する。

(1) 思いやりのある豊かな人間性を培い、すべての人の生命の尊厳を守り、権利を擁護できる能力。

(2) 思春期の健康教育をはじめとする女性のライフサイクル各期におけるリプロダクティブ・ヘルス／ライツに関する支援ができる能力。

(3) 離島・へき地の地理的特性を踏まえた周産期における母子及び家族の健康課題の支援ができる能力。

(4) 高度化する周産期医療に対応できる助産診断技術を持ち、産む人のニーズを尊重した満足で安全な分娩介助が自律してできる能力。

(5) 保健・医療・福祉・行政との連携を図り、協働して継続的な支援ができる能力。

(6) 助産師としての責任と義務を認識し、グローバルな視点で地域・国際社会に貢献できる能力。

(7) 社会の変化を敏感に察知し、生涯にわたり自己の資質の向上に努める能力を身につけ、助産学の発展に貢献できる能力。

取得できる 資格・免許

助産師国家試験受験資格、受胎調節実地指導員申請資格、新生児蘇生法修了認定（A コース）受験資格

修了後の進路

病院などの医療機関、助産所、保健所・保健センター、大学院進学

入学者選抜の概要

◆入学者の受入方針（アドミッション・ポリシー）

助産学専攻科は、本学の教育理念に共感し、自ら考え行動しようとする、以下のような学習意欲の高い人を求めます。

1. 助産に関心を持ち生命誕生に真摯に向き合える誠実な人
2. 相手の身になって考えることができ、周囲と積極的に協力し合える人
3. 目標に向かって粘り強く、自ら進んでチャレンジできる人
4. 将来助産師として社会に貢献できる意欲のある人
5. 社会に対し積極的に関わり、専門職としての役割を果たし、地域医療、国際貢献に意欲のある人

◆募集人員

修業年限	選抜区分	入学定員	募集人員	
			地域枠	一般枠
1年	一般選抜	6人	3人	3人

◆出願資格

（1）一般枠

出願者は、次の①から⑦のいずれかに該当し、かつ、出願時において日本の看護師資格または看護師国家試験受験資格を有している女性とします。ただし、入学時には看護師国家試験に合格している必要があります。

①学校教育法第83条に定める大学を卒業した者

②学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者または令和6(2024)年3月31日までに授与される見込みの者

③外国において、学校教育における16年の課程を修了した者または入学前年度の3月31日までに修了見込みの者

④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者または令和6(2024)年3月31日までに修了見込みの者

⑤我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者に限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者または令和6(2024)年3月31日までに修了見込みの者

⑥専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者または令和6(2024)年3月31日までに修了見込みの者

⑦文部科学大臣の指定した者

（2）地域枠

出願者は、前記（1）の出願資格を満たし、かつ、次の①から③のいずれかに該当し、かつ④に該当する者とします。なお、地域枠に出願した者は、併せて一般枠に出願したものとして取り扱います。

①沖縄県北部12市町村内の大学を卒業した者または令和6(2024)年3月31日までに卒業する見込みの者

②出願者の住所が沖縄県北部12市町村にあり、令和5(2023)年3月31日以前から1年以上継続して在住している者

③出願者の保護者、配偶者または一親等の親族の住所が沖縄本島北部12市町村にあり、令和5(2023)年3月31日以前から1年以上継続して在住していること。

※令和5(2023)年3月31日時点で既に1年以上の継続在住期間があることを指しています。

④修了後は、沖縄県内での保健・医療に従事する意志がある者が望ましい。

※助産学専攻科では、働きながらの就学はできません。

◆選抜方法

入学者の選抜方法は、一般選抜として、一般枠、地域枠に区分し、学力試験、面接及び出願書類（学業成績・志望理由書）の内容を総合的に判定して行う。

選抜区分	募集人員		試験科目等	配　点
一般選抜	6人	地域枠 3人	小論文	100点
			面　接	100点
		一般枠 3人	基礎看護学	100点
			母性看護学	100点
			小児看護学	100点
			面　接	100点

◆入試日程

種　別	願書受付期間	試験日	合格発表
地域枠	令和5(2023)年 9月11日(月)～ 9月15日(金) (消印有効)	令和5(2023)年 10月8日(日)	令和5(2023)年 11月1日(水)
一般枠	令和5(2023)年 11月13日(月)～ 11月17日(金) (消印有効)	令和5(2023)年 12月9日(土)	令和5年(2023)年 12月27日(水)

教育課程

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	履修方法及び修了要件
助産学基礎領域	助産学概論	1前	1		必修7科目8単位を履修
	助産ケアと倫理	1前	1		
	沖縄のケアリング文化と女性	1前	1		
	生殖医学	1前	1		
	周産期医学	1前	2		
	新生児・乳児学	1前	1		
	母子の栄養・薬理学	1前	1		
	小計		8	–	8
助産学実践領域	リプロダクティブヘルス支援	1通	1		必修14科目22単位を履修
	妊娠期の助産診断・技術学	1前	1		
	分娩期の助産診断・技術学	1前	2		
	産褥・新生児・育児期の助産診断・技術学	1通	2		
	周産期ハイリスクケア論	1通	1		
	健康教育技法	1通	1		
	分娩期助産演習	1前	1		
	母子の癒し援助論	1通	1		
	やんばるの母子保健	1前	1		
	助産学実習Ⅰ（妊娠期・継続ケース）	1通	2		
	助産学実習Ⅱ（分娩・産褥・新生児期）	1通	6		
	助産学実習Ⅲ（NICU）	1後	1		
	助産管理学実習	1通	1		
	母子ケアリング実習（僻地・離島）	1後	1		
	小計		22	–	22
助産学発展領域	助産管理学	1通	2		必修3科目5単位を履修
	国際母子保健学	1通	1		
	助産学研究	1通	2		
	小計		5	–	5
修了要件単位数					35単位
助産師国家試験資格を取得する場合の最低必要単位数					35単位

■修了要件

本専攻科の修了要件は、専攻科に1年以上在学し、所定の単位（助産学基礎領域から7科目8単位、助産学実践領域から14科目22単位、助産学発展領域から必修3科目5単位、合計35単位）を修得した者について修了を認定する。

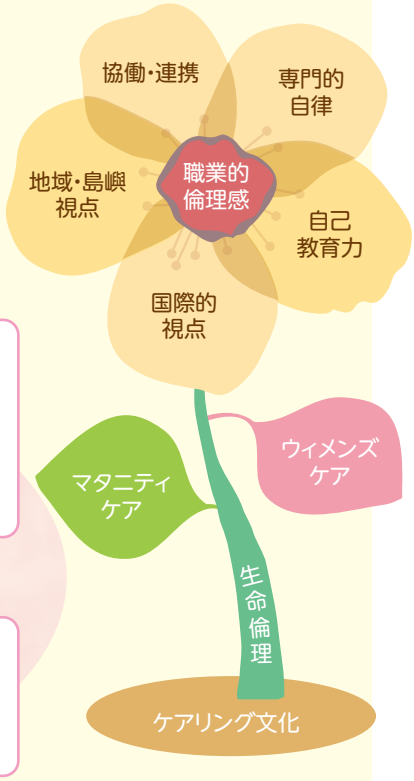
教育課程編成の基本的な考え方

本専攻科の教育課程は、助産師国家資格取得に必要な指定規則31単位を含む「助産学基礎領域」、「助産学実践領域」、「助産学発展領域」の3つの領域で構成し、以下の編成方針及び実施方針に基づき体系的に編成する。

助産学専攻科教育課程概念図

人材育成モデル

1. 安全で質の高い助産実践能力及び他職種と協働できる能力を身につけ、地域住民と相互にパートナーシップを築く存在として自己研鑽し、地域・国際社会の母子保健の発展に貢献できる助産師
2. 豊かな人間性と倫理観に基づき、地域特性や対象のニーズを踏まえた適格な対応ができ、女性とその家族のライフサイクルに応じた健康支援を自律して実践できる助産師



教育目標

①人間の生と性における尊厳を守り権利を擁護できる能力を修得し、あらゆる世代の対象を多面的に理解しケアできる能力と態度を養成する。

②女性、子ども、家族に安全で快適な助産ケアを提供するために、エビデンスに基づく判断及びケアができる能力を養成する。

③地域の母子保健のニーズを的確に捉え、保健・医療・福祉に携わるチームの一員として広い視野で社会に貢献できる能力を養成する。

沖縄のケアリング文化

④国際化する社会において、さまざまな文化を積極的に受け入れる柔軟性と国際的視点をもって、助産師の専門性を追求しながら、活動に貢献できる基礎的能力を養成する。

⑤自律した専門職業人として、必要な実践能力を維持・向上するために、生涯を通して自己研鑽できる能力を養成する。

教育課程の編成方針

助産学実践領域

- 現代社会における女性や子どもを取り巻く状況や、沖縄県が抱える周産期課題への理解を深め、課題を焦点化できる力を修得する。
- 女性の生涯を通じて、リプロダクティブヘルス／ライツに焦点を当てて支援する健康教育技法を修得する。
- 助産学実習を通して最新の周産期医療及び助産技術を学習し、対象の幅広いニーズに応えられる問題解決能力、実践能力を高める。

助産学発展領域

- 国際社会を視野に入れて、女性とその家族のライフサイクルに応じた健康支援を自律して実践できる力を修得する。
- 科学的探究心及び研究能力を培い、生涯にわたり自己の資質の向上に努める力を修得する。

助産学基礎領域

- 生命尊重・倫理観を深めながら、沖縄のケアリング文化を理解し、命に寄り添う助産師の役割や、保健医療福祉関係者との協働・連携について学ぶ。

学部教育（人間健康学部看護学科・専門教育）

- 基礎看護学
- 地域・在宅看護学
- 成人看護学
- 母性看護学
- 小児看護学
- 高齢者看護学
- 精神看護学
- 看護の統合と実践
- 臨地実習

教育課程の実施方針

❶知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現力、コミュニケーション力など、社会生活において必須となる汎用的な能力を養成するために、1年を通して学生主体・ディスカッションを主軸とした教育を実施する。

❷助産学専攻科専任教員のほか、妊娠期における超音波診断、新生児の蘇生などの演習など、様々な講師による授業を展開して、充実した実習環境で助産実践力を培う。

❸助産学実習においては、周産期を中心に、地域・国際社会での助産師活動や助産管理など、助産師としての技術、知識を修得する。

❹獲得した専門知識や助産技術を統合し、問題の解決と新たな価値の創造につなげていく能力や態度を養成するために、1年を通して研究の基礎的能力を培う。

年間スケジュール〔令和6(2024)年度〕

月	4月					5月				6月					7月				8月				9月					10月		11月			12月					令和7年1月				2月		3月				
週数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53
授業等日程		入学式／ガイダンス	講義・演習													助産学実習Ⅰ・Ⅱ 助産学実習Ⅰ(妊娠期・継続ケース) 助産学実習Ⅱ(分娩・産褥・新生児期)													夏季休業		講義・演習				助産管理学実習・助産院	助産学実習Ⅲ・NICU	健康教育演習	助産管理学実習・産科病棟	母子ケアリング実習		冬季休業		実習予備期間	講義・演習				助産師国家試験		助産学研究発表	学内演習	修了式		

※授業等日程の変更の可能性があります。

学費等納入金

助産学専攻科			地域内	地域外
学費	入学金		125,000円	250,000円
	授業料	前学期	267,900円	
		後学期	267,900円	
諸経費	後援会費	入学手続時	10,000円	
	学生教育研究災害障害保険		1,000円	
	学研災付帯賠償責任保険		500円	
	総合補償制度「Will2」		4,500円	
合計		納入総額	676,800円	801,800円
納入総額内訳		入学手続時納入金	408,900円	533,900円
		後学期納入金	267,900円	

※諸経費は、入学手続時に1年間分を納入します。

※本学助産学専攻科は、厚生労働大臣より教育訓練給付金の「専門実践教育訓練給付制度」の対象講座として指定されています。(期間:2022年4月1日～2024年3月31日)
制度の詳細や申請方法については厚生労働省ホームページをご確認ください。

地域内・地域外の入学金について

入学金については、志願票に記載されている事項に基づき、以下のとおり取り扱うことになります。

(1)「地域内」とは以下のいずれかに該当する者のことを指し、入学金が「125,000円」となります。

①入学する者の卒業した出身高等学校が沖縄県北部12市町村※に所在していること。

②入学する者の住所が沖縄県北部12市町村にあり、令和5(2023)年3月31日以前から1年以上継続して在住していること※。

③入学する者の保護者、配偶者または一親等の親族の住所が沖縄県北部12市町村にあり、令和5(2023)年3月31日以前から1年以上継続して在住していること※。

※令和5(2023)年3月31日時点で1年以上の継続在住期間があることを指しています。

※《沖縄県北部12市町村》とは
沖縄県の「名護市」、「国頭村」、「大宜味村」、「東村」、「今帰仁村」、「本部町」、「恩納村」、「宜野座村」、「金武町」、「伊江村」、「伊平屋村」、「伊是名村」のことを指します。

(2) 上記①～③以外の者は「地域外」となり、入学金が「250,000円」となります。

(3) 本学卒業生の入学金は、「地域内」の半額となります。

助産学専攻科で学ぶ Q&A

Q 3年課程の専修学校専門課程（専門学校）卒業ですが、助産学専攻科に出願できますか？

A 「専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者または令和6(2024)年3月31日までに修了見込みの者」が出願できます。
したがって、3年課程の専修学校専門課程修了者は、出願資格を満たしていないことになります。

Q 仕事を辞めることができません。助産学専攻科では、働きながら学ぶことができますか？

A 助産学専攻科では、昼間に授業を行います。また、教育課程は、1年で35単位の取得が必要であり、授業以外の学習時間も必要です。したがって、働きながらの就学はできません。

Q 助産学専攻科入学前に必要な条件は何ですか？

A 看護師国家試験に合格しなければ、入学できませんので、ぜひ、国家試験合格を目指して努力してください。

Q 助産学専攻科入学前に準備しておくとよいことは何ですか？

A 母性看護学の復習、また、「健やか親子21(第2次)」（厚生労働省・健やか親子21推進協議会）、「健やか親子おきなわ21(第2次)」を熟読し、理解しておいてください。

Q 「助産師国家試験受験資格」以外に何か取れる資格はありますか？

A 「受胎調節実地指導員」の申請資格を取得することができます。また、公認講習会を受講後、試験に合格し、所定の手続きを経て「新生児蘇生法修了認定(Aコース)」が取得できます。

Q 助産学実習に伴う、宿泊等の対応はどのようになっていますか？

A 原則として学生自身が確保することになります。実習施設の宿泊設備が利用可能な場合もあります。実習に伴う諸費用（交通費、食費、宿泊費）は学生の自己負担となります。

Q どんな学生生活をおくっているのか知りたいです。

A 専門分野の知識を学ぶため、学修することが大変多くなってきます。しかし、仲間同士で協力し専門知識を修得しています。ぜひ、助産学専攻科1期生から5期生のメッセージを読んで参考にしてください。

Q 入学願書の出願手続きはどのようになっていますか？

A

①スケジュールの確認
令和6(2024)年度入試にあっては、事前にホームページで願書受付期間や試験日等のスケジュールを確認してください。なお、学生募集要項は、令和5(2023)年7月から配布予定としています。

②出願書類の準備
受験に必要な書類などを準備します。成績証明書や卒業（見込）証明書、写真、志願理由書の時間を要するものは、余裕をもって準備することをお勧めします。

③願書の記入
入学志願票などに必要な事項を記入します。

④入学検定料の納入
指定された銀行等の金融機関から、所定の振込取扱い期間内に検定料を納めてください。

⑤最終のチェックと書類提出
提出前に、記入漏れ、添付漏れがないかを確認し、所定の出願期間内に郵送または持参してください。

⑥受験票の確認
受験票は、出願受付が終了次第、郵送します。届かない場合は、本学入試・広報課にお問い合わせください。

Q 助産師国家試験の合格状況はどうなっていますか？

A 助産学専攻科は2017年に開設し、第1期生から第6期生まで全員合格(100%)しています。学生が主体的に10月から1月まで模試試験と国家試験対策プログラムを計画し、実施しています。

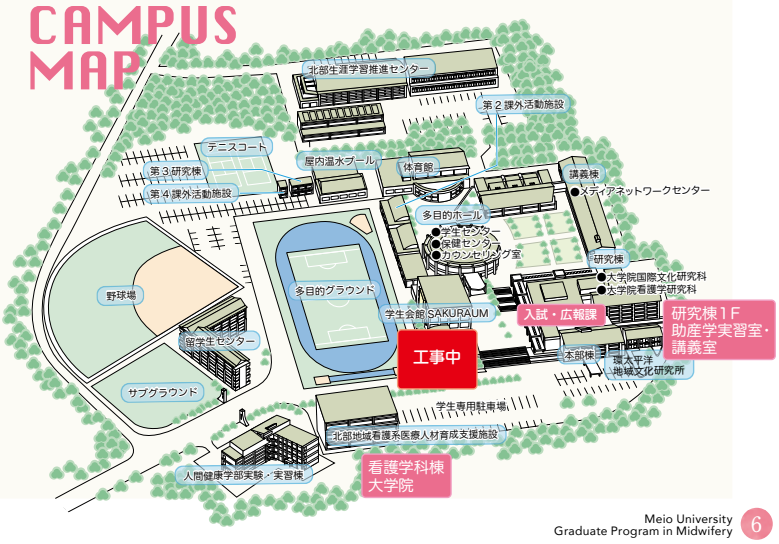
Q 主な就職先はどこですか？

A 沖縄県立病院、琉球大学病院、那覇市立病院、豊見城中央病院、中頭病院、県外の病院などです。

Q 過去の問題を見ることはできますか？

A 平日に学内で閲覧することができます(5年分)。詳しくは入試・広報課までお問い合わせください。

CAMPUS MAP



助産学専攻科の1年間
One Year of Student Life

4月/教育研修

入学時教育研修

沖縄の歴史・文化に触れ、地域の課題と向き合うことで助産師のアイデンティティを育みます。

4月～10月/講義・演習

卒業生(6期生)からのメッセージ

助産学専攻科での1年間は忙しくなると思いますが、自分の夢に向かって先生方や仲間とともに頑張れる環境で、とても充実した1年になると思います。みんなで支え合いながら体調にも気をつけて頑張って下さい応援しています。

「妊娠期の助産診断技術学」:調理実習

「母子の癒し援助論」
ベビーマッサージ等の場面

「産褥期・新生児・育児期の助産診断・技術学」
新生児の観察・計測の演習場面

12月/母子ケアリング実習

3月修了式

公立大学法人
名桜大学
MEIO UNIVERSITY

資料請求・入試に関するお問い合わせ

〒905-8585 沖縄県名護市字為又1220-1
教務部 入試・広報課　TEL.0980-51-1056　FAX.0980-54-2429
e-mail:nyushisodan@meio-u.ac.jp　https://www.meio-u.ac.jp/